

# がんでも、安心して 家で暮らせるまちをめざして

参加費  
無料

定員：450人（申込先着順）  
事前申込み切り 1月25日  
対象：一般県民及び在宅緩和ケアに  
携わる施設関係者等

## 日時

平成22年

1/30(土) 13:00～16:30  
(開場 12:00)

## 場所

千葉市文化センター  
3階アートホール

千葉市中央区中央 2-5-1 / TEL 043-224-8211  
JR千葉駅、京成千葉中央駅より徒歩10分



千葉県では、がんになっても住み慣れた地域で安心して過ごせるよう、「在宅緩和ケア」の推進を掲げ、千葉県在宅緩和ケア支援センターを千葉県がんセンターに設置します。

このフォーラムでは、基調講演として、「在宅ホスピスのススメ」の著者である二ノ坂保喜氏に、家での看取りやいのち、福岡県のネットワークについてご講演頂きます。パネルディスカッションでは、まず、千葉県がんセンターの緩和医療や在宅緩和ケア支援センターの紹介、その後、医師会、訪問看護師、ケアマネージャーに患者家族も交えて、在宅緩和ケアの現状や問題点、今後の方向性などを話し合います。

## ● 基調講演 「在宅ホスピスのすすめ -コミュニティの再生へ」

講師 **二ノ坂 保喜** にのさかクリニック院長

昭和52年長崎大学医学部卒。平成8年にのさかクリニックを開設、現在に至る。  
外来と在宅を両輪とするクリニックにて、主として高齢者や末期患者（がん患者を含む）の在宅ケアに取り組んでいる。医療関係者ばかりでなく、多方面の職種とのネットワーク作りにも取り組み、市民グループとも手を携え、在宅ホスピスケアに力を入れている。日本ホスピス・在宅ケア研究会理事、福岡緩和ケア研究会世話人。著書に、「在宅ホスピスのススメ」、「ふくおか在宅ホスピスガイドブック」（木星舎）、「余命六ヶ月から読む本」ファイナルステージを考える会編（海鳥社）など。

## ● パネルディスカッション

### 「がんでも、安心して家で暮らせるまちをめざして」

パネリスト：	<b>坂下 美彦</b>	千葉県がんセンター緩和医療科医長
	<b>島村 善行</b>	松戸市医師会、島村トータル・ケア・クリニック院長
	<b>権平 くみ子</b>	千葉県訪問看護ステーション連絡協議会長
	<b>近藤 けい子</b>	NPO法人こだま代表
	<b>患者 家族</b>	在宅緩和ケア体験者
コメンテーター：	<b>土橋 正彦</b>	千葉県在宅がん緩和ケア専門委員会、市川市医師会長
コーディネーター：	<b>藤田 敦子</b>	NPO法人千葉・在宅ケア市民ネットワークピュア代表

## お問い合わせ

千葉県健康福祉部健康づくり支援課  
在宅がん緩和ケアフォーラム係  
電話 043-223-2686

## 申し込み先

在宅がん緩和ケアフォーラム事務局  
電話 070-5554-3734 / FAX 047-448-7689  
Eメール pure-jime@wind.sannet.ne.jp  
〒273-0853 船橋市金杉 7-40-3 NPO 法人「ピュア」内

主催：千葉県、千葉県在宅緩和ケア支援センター、NPO 法人千葉・在宅ケア市民ネットワーク ピュア

後援：千葉市、千葉県医師会、千葉県歯科医師会、千葉県薬剤師会、千葉県看護協会、千葉県がん診療連携協議会、千葉県社会福祉協議会、千葉県訪問看護ステーション連絡協議会、千葉県地域包括・在宅介護支援センター協会、千葉県社会福祉士会、千葉県医療社会事業協会、千葉県介護支援専門員協議会、千葉県介護福祉士会、千葉県ホームヘルパー協議会、千葉県理学療法士会、千葉県民生委員児童委員協議会、千葉ヘルス財団、ちば県民保健予防財団、千葉県在宅医懇話会、NHK千葉放送局、チバテレビ、朝日新聞千葉総局、毎日新聞千葉支局、読売新聞社千葉支局、産経新聞社千葉総局、日本経済新聞千葉支局(株)千葉日報社、東京新聞千葉支局、(株)時事通信社千葉支局、(社)共同通信社千葉支局、日刊工業新聞社千葉支局、NPO 法人医療・福祉ネットワーク千葉、千葉大学福祉環境交流センター